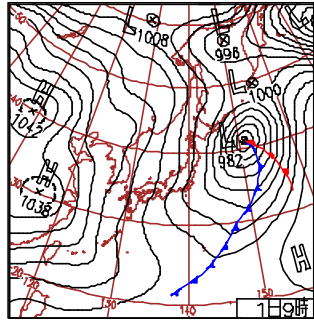


2005年 1月

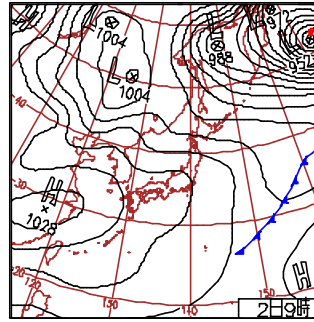
- ・ 8日～13日、強い冬型の気圧配置が続き、北日本や日本海側で大雪。
- ・ 15日～16日、低気圧の接近で東北～関東甲信で大雨や大雪。銚子市の日雨量205mm。1月の記録更新。
- ・ 30日～31日、強い寒気が入り、北日本を中心に強風・大雪。

(気象庁予報部予報課)



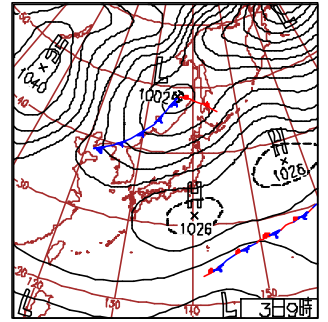
1日(土)日本海側 降雪続く

冬型の気圧配置強まり、日本海側は雪やみぞれ。太平洋側は晴れ、南西諸島は曇り。岐阜県白川村で9時までの24時間に降雪量40cm。東京は前日の積雪が残る。



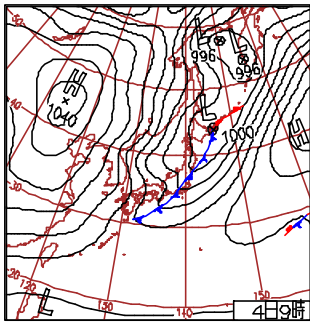
2日(日)東京 今冬初の氷点下

寒気の影響で北日本の日本海側は雪、その他は晴れ。太平洋側は放射冷却現象も加わり朝の気温が平年に比べ約4℃低く、東京は今季初の氷点下。関東以西の所々で初氷、初霜。



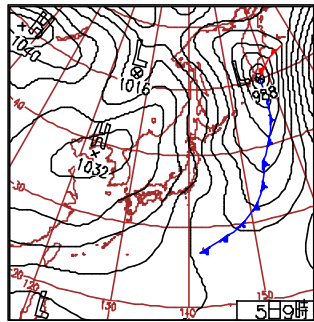
3日(月)全国的に南風

沿海州から接近する低気圧により、北日本を中心に全国的に南風。日中の気温は3月中旬～下旬並。仙台市や新潟市の最高気温は約半月ぶりに10℃を超える。



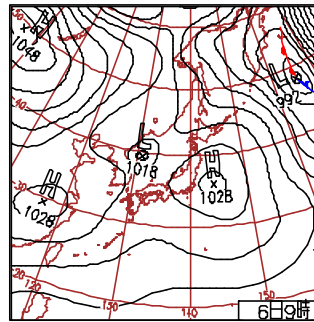
4日(火)関東 4月中旬並の暖かさ

北日本～西日本を寒冷前線が通過。地形的に寒気の入りにくい関東では、前日入った暖かい空気が日中の晴天によってさらに昇温。東京の最高気温は平年より8℃以上高い18.5℃。



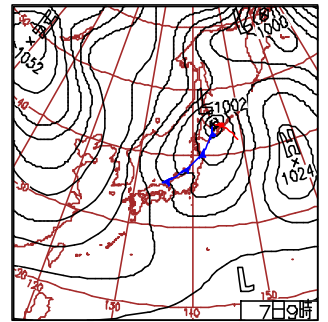
5日(水)真冬並に寒の入り

強い冬型気圧配置により日本海側は雪や雨。山陰や北陸では雷を伴う。太平洋側は晴れ。寒気に覆われ日中の気温はほぼ全国的に平年より2～4℃低い真冬並。東京は8.1℃。



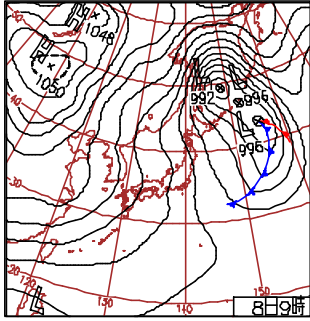
6日(木)東・西日本 弱い雨

気圧の谷の影響で、東・西日本は雨、北海道の一部で雪の他は曇り。九州では、朝の気温が高く3月並。インドネシアでスマトラ沖地震被災国支援緊急首脳会議を開催。



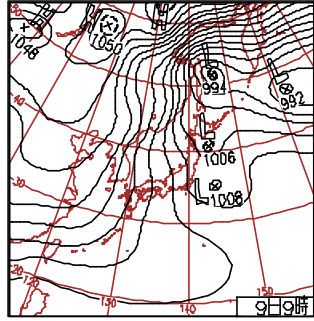
7日(金)石垣島 桜が開花

寒冷前線が北日本を通過し、北日本は雪や雨。その他は太平洋側を中心に晴れ。関東の最高気温は平年より高く、横浜市は4月上旬並の15.2℃。石垣島でヒカンザクラの開花。



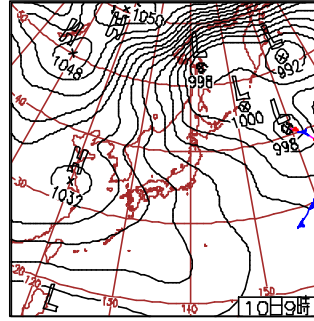
8日(土)全国的に気温が下がる

西高東低の冬型気圧配置。山陰以北の日本海側で雪。全国的に気温が下がり、最高気温は前日より3～6℃低い。札幌は-3.3℃の真冬日。尾鷲で平年より19日遅い初雪。



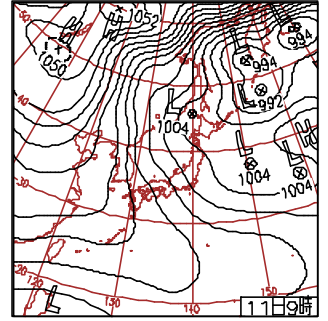
9日(日)日本付近は強い冬型

秋田市の上空約5400mに-38℃以下の寒気が入り、強い冬型の気圧配置。日本海や黄海には一面に筋状雲が広がる。9時までの24時間降雪量は青森市53cm、新潟県魚沼市45cm。



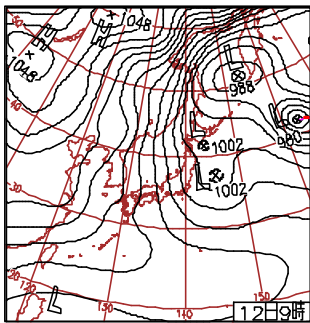
10日(月)鹿児島 初雪

冬型気圧配置続き、北陸から北の日本海側は降雪続く。9時までの24時間降雪量は、新潟県十日町市58cm等、新潟県中越で50cm超。鹿児島市でほぼ平年並の初雪。



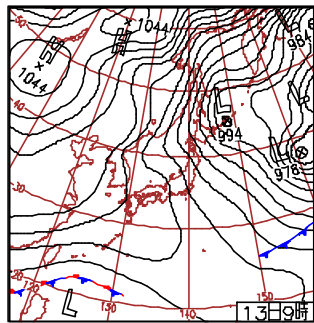
11日(火)北日本 寒気流入続く

新潟県輪島市の上空約5400mに-37.7℃の寒気が入り、北陸～東北、北海道で雪。福島県只見町で9時までの24時間に降雪量67cmの大雪。北海道陸別町では最低気温-29.1℃。



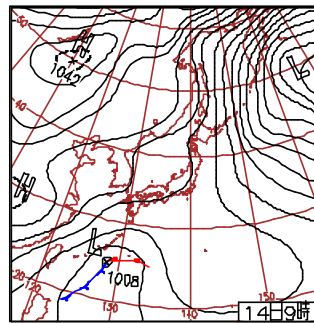
12日(水)日本海側 大雪続く

北日本の上空に-42℃以下の寒気があり、冬型気圧配置が強まる。北陸～北海道の日本海側で大雪が続き、9時までの24時間降雪量は、新潟県十日町52cm、山形県大蔵村50cm。



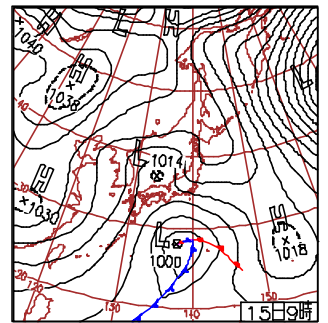
13日(木)強い寒気 東に抜ける

上空の寒気は中心は北海道の東海上に抜ける。冬型気圧配置は西から緩み、日本海側の降雪も弱まる。札幌は最高気温が2.0℃で、5日間続いた真冬日から解放。



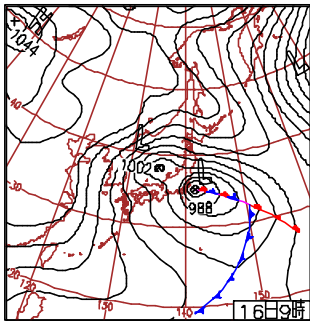
14日(金)冬型気圧配置弱まる

冬型気圧配置は緩み、日本海側でも晴れや曇り。沖縄の南で低気圧が発生し、発達しながら北東進。午後は関東から西は曇り、九州南部で雨が降り出す。

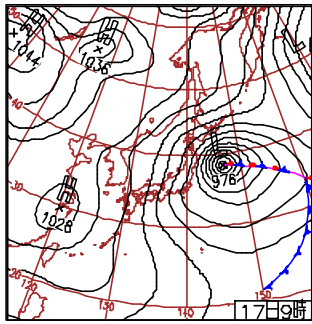


15日(土)台風第1号発生

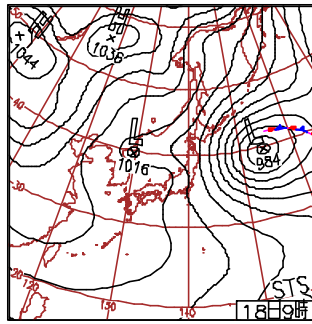
本州の南岸を低気圧が北東に進む。関東北部と東北太平洋側で雪、関東南部～九州北部は雨、その他は概ね曇り。熊本県で震度4の地震。台風第1号がカロリン諸島で発生。



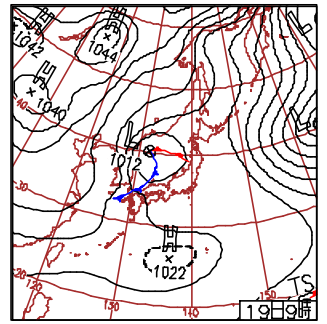
16日(日)銚子市 記録的豪雨
 低気圧の接近で関東南部は大雨。関東北部～東北南部は雪。栃木県栗山村で9時までの24時間降雪量51cm。千葉県銚子市の日雨量205mm、1月の日雨量記録を107年ぶりに更新。



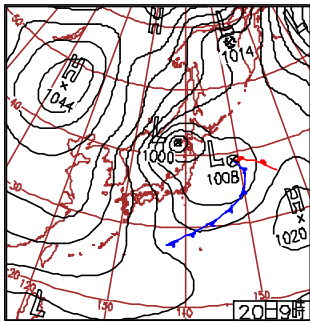
17日(月)太平洋側で大しけ続く
 三陸沖の発達した低気圧により、北日本や日本海側は雪や雨。北日本の太平洋側では大しけの状態が続く。関東以西の太平洋側は概ね晴れ。



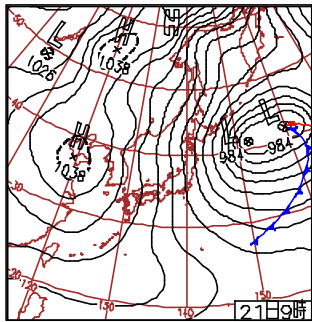
18日(火)釧路支庁で震度5強
 発達した低気圧は日本のはるか東海上に進む。北海道の一部で強風が続く。他はほぼ全国的に穏やかな天気。新潟市の最高気温は3月中旬並の8.6。北海道釧路支庁で震度5強。



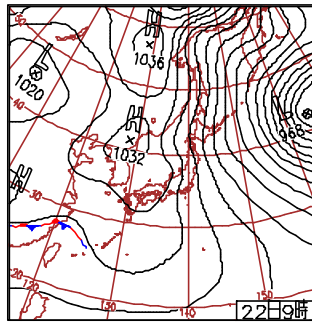
19日(水)三宅島で津波を観測
 前線を伴った低気圧が日本海をゆっくり東進。日本海側が雨の他は晴れや曇り。関東東方沖でM6.8の地震。三宅島で30cmの津波を観測。北海道枝幸町に流水漂着。



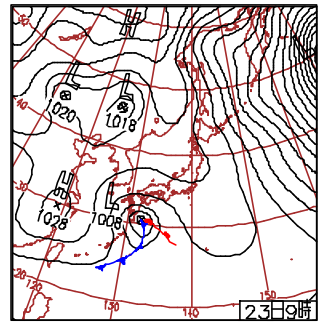
20日(木)南大東島 ウグイス初鳴
 低気圧や寒気の影響で、日本海側は雪や雨。太平洋側は曇りや晴れ。南大東島の昨年より22日早いウグイスの初鳴は最早の記録。



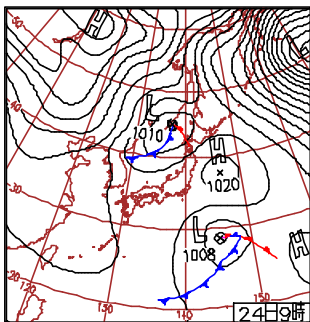
21日(金)流水接岸
 冬型の気圧配置が強まる。中国地方から北の日本海側では雪、その他は晴れ。群馬県水上町で9時までの24時間に67cmの降雪。北海道の猿払村～北見町の海岸に流水接岸。



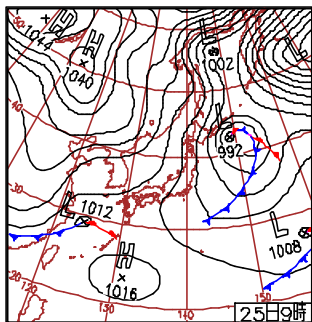
22日(土)函館 10日ぶりの真冬日
 冬型の気圧配置は西日本から弱まり、日本海側の降雪は峠を越す。北海道は寒気が抜けず、函館市では10日ぶりの真冬日。九州には、長江河口域から次の気圧の谷が接近。



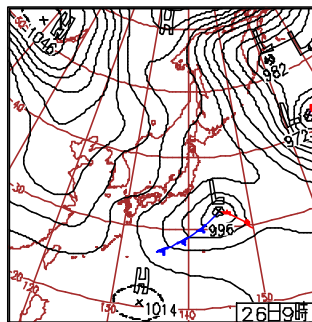
23日(日)鹿児島県で激しい雨
 低気圧が九州南岸を東進。九州・四国・中国で午前中を中心に雨。鹿児島県内之浦町では95mm/3hの激しい雨。関東は北東気流で、最高気温は平年より5前後低い。



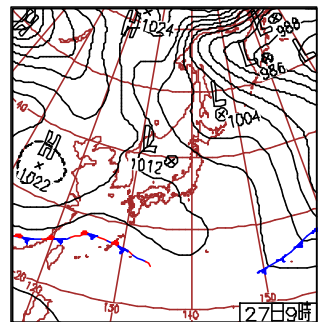
24日(月)北海道に低気圧接近
 高気圧は日本の東海上に進み、代わって日本海北部の低気圧が北海道に接近。全国的に曇りの所が多く、北海道は所々で雪、九州北部は雨。米国の中・西部～北東部で大雪。



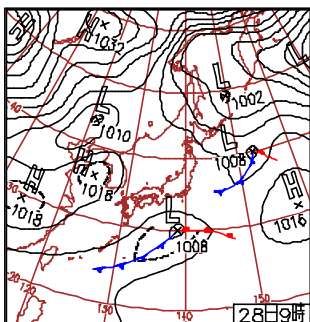
25日(火)高松 ヒバリ初鳴
 北日本は冬型の気圧配置で、日本海側は雪。東シナ海で低気圧が発生し日本の南海上に進む。西日本は午後から雨。その他は晴れや曇り。高松市でヒバリの初鳴。



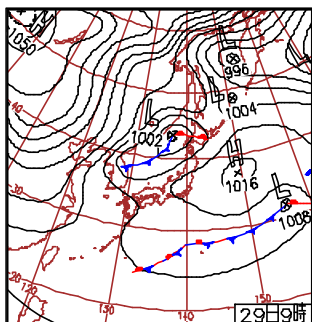
26日(水)北海道下川町 -32.1
 寒気の流入と本州南岸の低気圧の影響で、関東～北海道は雪や雨。その他は曇りや晴れ。北海道下川町の最低気温は全国で今季2度目の-30以下。福岡市でウメが開花。



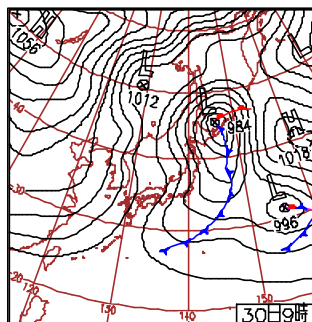
27日(木)沖縄 4月中旬並
 日本海の低気圧により、東北の日本海側を中心に雨や雪。華南からのぶる前線の接近で九州～近畿は雨。前線の南側にあたる沖縄の最高気温は平年より4～5高い4月中旬並。



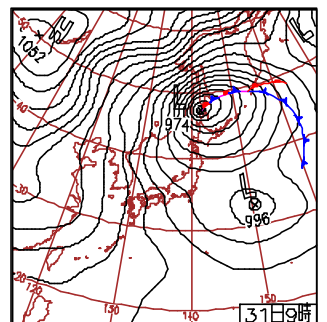
28日(金)暖かく穏やかな天気
 北海道は寒気により雪。南西諸島は前線や寒気の影響で雨。その他は高気圧に覆われ穏やかな晴れ。最高気温は西日本で平年より4～5高い13月中旬並。前橋市でウメの開花。



29日(土)全国的に3月～4月上旬並
 高気圧が本州の東に抜け、日本海を低気圧が東進。北海道は雨や雪、高気圧後面の東海・関東は所々雨、その他は概ね晴れ。南風が入り全国的に3月上旬～4月上旬の暖かさ。



30日(日)低気圧発達 冬型強まる
 北海道を通過した低気圧がオホーツク海で発達。札幌市の上空約5000mには今冬一番の-43以下の寒気が入り、冬型の気圧配置が強まる。宮城県石巻市で最大瞬間風速31.5m/s。



31日(月)日本付近に強い寒波
 強い冬型の気圧配置で日本海側は雪。九州南部は雨やみぞれ、沖縄は曇り。太平洋側は概ね晴れ。函館市の最深積雪58cm、1月として2位の記録。甲府市でツバキが開花。